

純正ミラー交換タイプ/4カメラ同時録画対応
デジタルスマートルームミラー
【取扱説明書】

SMDR-B001A/B

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■本体各部名称	7
■microSDカードの挿入・取り出し	8
■電源のON/OFF	9
■メニュー画面	10
■表示切替	12
■ウインカー連動/バック連動	13
■録画設定	14
■録画モード	16
■ADAS機能について	17
■ホーム画面	20
■簡易メニュー	21
■詳細設定	22
■画面輝度自動調整	24
■駐車監視モード	25
■再生画面	26
■アンドロイド内部ストレージについて	28
■アプリケーションについて	29
■アップデートについて	30
■よくある質問	31
■製品仕様	32

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リア/サイドカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいつきはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。イベント映像(手動、衝撃検知、駐車監視)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
 - 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
 - 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
 - 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
 - 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
 - 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
 - 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
 - 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合
- ※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
 - 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合
- ※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

使用上のご注意

11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

■本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。

■故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

■録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。

■運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。

■本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。

microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。

■本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。

■車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

■記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

■LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

【microSDカードについて】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12Vマイナスアース車専用です。
12V車以外では使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

安全上のご注意



- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- 本機の時計はGPSを受信した状態でGPS自動設定時間によって正しい時刻になりますので、初期及び長時間使用しなかった後に起動する場合は、GPSを受信して正しい時刻にあったかどうかを確認してください。
- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面表示が消えてから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| ①液晶モニター | ④取付ステー接続部 | ⑦miniUSB端子 |
| ②画面表示切替ボタン | ⑤フロントカメラ | ⑧右microSDスロット |
| ③スピーカー | ⑥左microSDスロット | ⑨リセットボタン |

※リセットボタンは本体が正しく動作しなくなった時に押してください。
ボタンを押すと強制的に再起動します。

microSDカードの挿入・取り出し

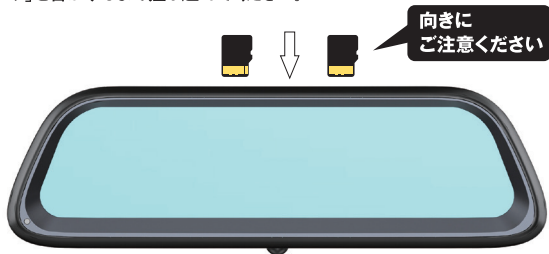
■カードを挿入する

本体上部、microSDスロットにmicroSDカードを挿入します。

【左microSDスロット】左右カメラ映像を記録

【右microSDスロット】前後カメラ映像・4カメラ静止画を記録

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

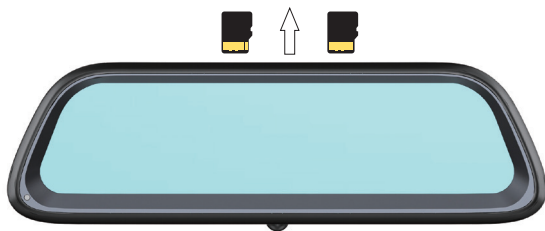


■カードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。

microSDカードを押してカードが少し飛び出したら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、128GBまでものをご利用ください。

※microSDカードは本体からフォーマットを行ってください。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動 (ACCをON) すると自動的に起動します。

初回はアンドロイドシステム起動のため数十秒かかります。

リアカメラ映像をモニターに表示し、フロント/リア/左/右の4カメラで録画を開始します。



■電源のOFF

車両のエンジンを停止 (ACCをOFF) すると、自動的に停止します。

本体設定でスリープ状態 (駐車監視モード)、または電源OFFを選択できます。



メニュー画面

画面をタッチするとメニュー画面が表示されます。



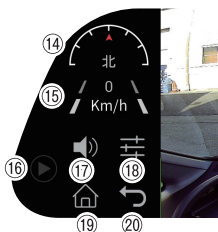
- ①画面左側を上下にスライドすると画面輝度を調整します。
- ②画面右側を上下にスライドすると音量を調整します。
- ③左サイドカメラ表示切替ボタン…左サイドカメラの表示ON/OFFを切り替えます。
- ④右サイドカメラ表示切替ボタン…右サイドカメラの表示ON/OFFを切り替えます。



- ⑤⑥アングル調整ボタン…表示アングルを上下に調整します。(フロント/リアカメラのみ)
- ⑦フロント/リアカメラ切替ボタン…フロント/リアカメラ映像に切り替えます。
- ⑧ロックボタン…録画中のファイルをロックします。
録画停止中にタッチするとロックファイルの録画を開始します。
- ⑨録画ボタン…録画停止/再開します。
- ⑩静止画撮影ボタン…表示中の画面を静止画で保存します。
- ⑪録音ボタン…録音のON/OFFを切り替えます。
- ⑫録画設定ボタン…録画設定に移動します。
- ⑬ホームボタン…ホーム画面に移動します。

メニュー画面

フロントカメラ表示時は左右にもメニューが表示されます。



- ⑭ 方角表示
- ⑮ 時速表示
- ⑯ 左サイドカメラ表示切替ボタン…左サイドカメラの表示ON/OFFを切り替えます。
- ⑰ ミュートボタン…音量を0にします。
- ⑱ 簡易メニューボタン…簡易メニューに移動します。
- ⑲ ホームボタン…ホーム画面に移動します。
- ⑳ 戻るボタン…1つずつ前の画面に戻り、ホーム画面まで移動します。
- ㉑ 録画中マーク…録画中は●が赤くなります。
- ㉒ GPS情報…GPS受信中に表示します。
- ㉓ 音量情報
- ㉔ 日時表示
- ㉕ 右サイドカメラ表示切替ボタン…右サイドカメラの表示ON/OFFを切り替えます。

⚠ 日時表示について

期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされる場合があります。

日時を手動またはGPS自動設定で設定し直してください。

自動設定の場合は正しい時刻の表示まで2,3分程かかります。

表示切替

起動後は自動的にリアカメラ映像を表示します。

カメラ切替ボタンをタッチしてフロント/リア映像表示の切り替え、左右サイドカメラ映像の表示/非表示を切り替えます。

(例)

リアカメラ



リアカメラ
+
左右サイドカメラ



フロントカメラ
+
左サイドカメラ



画面表示切替ボタンを短押しで表示OFFになります。

表示OFF
通常のミラー
として使用



※画面表示切替ボタンを長押しすると、再起動 (Reboot) またはマナーモード (音量0) の選択画面になります。

ウインカー連動/バック連動

■ウインカー連動

ウインカー連動線を接続している場合、右左折時ウインカーに連動してリアカメラと曲がる方向のサイドカメラの映像を表示します。



- ※設定で補助線の表示ON/OFFを切り替えることができます。
- ※ハザードランプ点滅時は左右のサイドカメラ映像を表示します。

■バック連動

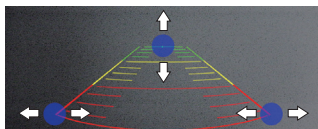
バック連動線を接続し、設定でバック連動をONにしている場合、バックギア入力時にリア/サイドカメラ映像に切り替わり、バック補助線が表示されます。



- ※画面表示OFFの場合でも、ウインカー/バック連動時はリア・サイドカメラ映像を表示します。

■補助線の調整

補助線を長押しすると青い丸が表示されドラッグすると補助線の調整ができます。



録画設定

メニュー画面の録画設定ボタンをタッチして、録画設定に移動します。

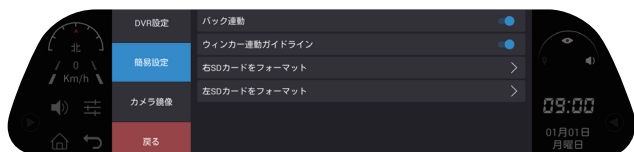


■DVR設定

《ループ録画》1ファイル毎の録画時間を設定します。

《動画解像度》フロント/リアカメラの解像度を設定します。

《Gセンサー感度》Gセンサー感度を設定します。感度が高いほど緊急録画(ロックファイル)を作成しやすくなります。



■簡易設定

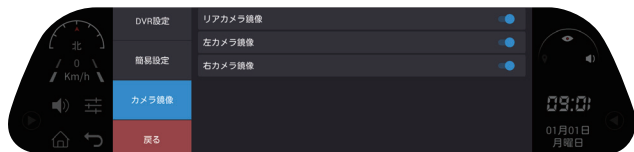
《バック連動》バック連動ON/OFFを設定します。

《ウィンカー連動ガイドライン》ウィンカー連動時の補助線ON/OFFを設定します。

《右SDカードをフォーマット》右SDカードをフォーマットします。

《左SDカードをフォーマット》左SDカードをフォーマットします。

録画設定



■カメラ鏡像

《リアカメラ鏡像》リアカメラの鏡像表示ON/OFFを設定します。

《左カメラ鏡像》左サイドカメラの鏡像表示ON/OFFを設定します。

《右カメラ鏡像》右サイドカメラの鏡像表示ON/OFFを設定します。



■ADAS設定

ADAS (運転支援システム) 機能ON/OFFや各警告機能の設定を行います。

→詳しくはP.19 ADAS設定をご参照ください。

録画モード

■通常録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。

設定により、1分/2分/3分と録画時間を設定できます。(初期値は1分)

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。

【録画時間を1分に設定の場合】



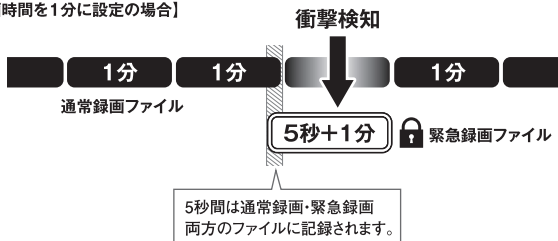
■緊急録画

Gセンサーが衝撃を検知すると、通常の録画から緊急録画モードに切り替わります。

衝撃検知時のファイルとその直前の5秒間を緊急録画ファイルとして保存します。

緊急録画が終了すると、通常録画に戻ります。

【録画時間を1分に設定の場合】



■衝撃録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に上書きします。

必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。

ADAS機能について

■本製品は車線逸脱と車両前方の危険を予測し運転者に警報を発する運転者支援システムです。

■本製品は警報を発することにより運転者に注意を喚起することを目的とした製品ですが本製品の設置により運転者は通常の安全運転の義務を免れるものではありません。運転時は常に前方車との車間距離や、周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど、安全運転に努めてください。

■本製品は自動運転システムではなく、運転者の車両制御や安全運転の代替として作動するものではありません。本製品に頼った運転は、絶対に行わないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

■車両や走行車線の検出、その他潜在的な道路上の危険を全て認識することを保証するものではありません。

■本製品は運転者の判断を補助し、事故被害の軽減を目的としています。衝突警報が作動した場合は前方や周囲を確認の上、運転者の判断でブレーキペダルを踏むなどの適切な操作をしてください。

■道路、天候およびその他の条件により、前方の車両や車線を認識しづらくなり、状況によっては本製品の認識性能が下がる場合があります。走行車線がはっきりと印された舗装道路での使用を目的としています。

■運転者は走行中にモニターを注視するなど、前方不注意を行わないでください。

■認識性能には限界があります。本取扱説明書を必ず参照のうえ、正しくご使用ください。誤った使用をすると、適切に制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■警報機能は、あらゆる状況で注意を知らせるものではありません。警報機能に頼らず、十分に安全を確認して運転してください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも、警報を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても、当社や販売店は一切の責任を負いません。

ADAS機能について

ADAS機能はフロントカメラ映像を解析し警報を發します。
機能を有効にするには設定画面でADASをONにして初期セッティングが必要です。

■車線逸脱

車線を認識した状態(走行車線を水色で表示)で、走行中に意図せず車線を越えた時に音声で警告します。

車線を認識していない



車線を認識している



※緑色の横線は水平線を表示

■前方車間距離(前方衝突)警告

走行中に前方車に近づき危険だと判断した時にマーク表示と音声で警告します。



前方車を認識し、衝突する危険度を色で分けて表示します。

安全 水色 → 黄色 → オレンジ → 赤 危険

マーク上部の数字は、現在の速度で走行を続けた場合に衝突するまでの時間(秒)を予測して表示します。

■前報車発進検知

前方車の発進後に自車が停止し続けた時に「ディントン」と警報音が鳴ります。

■歩行者接近警告

歩行者が接近し危険だと判断した時に音声で警告します。

ADAS機能について

■ADAS設定

ADAS機能の各設定を行います。



《ADAS》ADAS機能ON/OFFを設定します。

《初期セッティング》ADAS機能を実行する前にセッティングを行います。

画面に表示される緑色の線をスライドし水平線・車両中央を設定します。

《車線逸脱警告》車線逸脱警告のON/OFFを設定します。

〈警告感度設定〉車線逸脱の感度を設定します。

〈警告速度設定〉警告を開始する最低時速を設定します。

《音声案内音量》警告音声の音量を設定します。

《前方衝突警告》前方車間距離(前方衝突)警告のON/OFFを設定します。

〈警告感度設定〉前方車接近の感度を設定します。

〈警告速度設定〉警告を開始する最低時速を設定します。

〈警告音間隔〉警告音の鳴る間隔を設定します。

《前方車発進検知》前方車発進検知のON/OFFを設定します。

〈検知感度設定〉検知感度を設定します。

《歩行者接近警告》歩行者接近警告のON/OFFを設定します。

〈警告感度設定〉警告感度を設定します。

〈 〉の各警告をONにした時に、〈 〉の各設定が表示されます。

ホーム画面

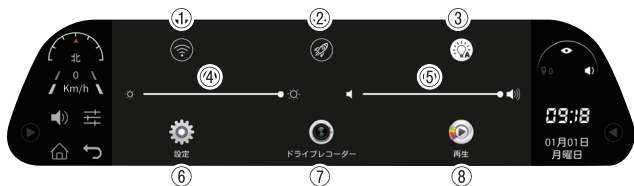
メニュー画面のホームボタンをタッチして、ホーム画面に移動します。



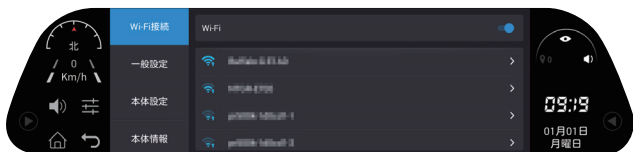
- ①…録画画面に移動します。
- ②…ロックファイルの録画を開始、または録画中のファイルをロックします。
- ③…録画を開始/停止します。
- ④⑨…再生画面に移動します。
- ⑤…詳細設定に移動します。
- ⑥…簡易メニューに移動します。
- ⑦…アップデート画面に移動します。
- ⑧⑩…ファイル(アンドロイド内部ストレージ)に移動します。
- ⑪…アプリケーション一覧に移動します。

簡易メニュー

メニュー画面の簡易メニューボタンをタッチして、簡易メニューに移動します。



- ①…Wi-FiのON/OFFを切り替えます。
- ②…アンドロイドのキャッシュを削除しメモリ容量を回復します。
- ③…自動輝度調整のON/OFFを切り替えます。
- ④…画面輝度を調整します。
- ⑤…音量を調整します。
- ⑥…詳細設定に移動します。
- ⑦…録画面面に移動します。
- ⑧…再生画面に移動します。

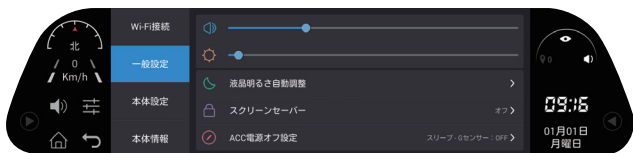


■Wi-Fi接続

《Wi-Fi》

アンドロイドアプリのインストールなどインターネットを使用する時に、Wi-Fiルーター等と接続します。

Wi-FiをONにすると接続可能な端末を検索し、端末名をタッチして初回はパスワードを入力し接続します。2回目以降は自動で接続します。



■一般設定

《音量》音量を調整します。

《輝度調整》画面の輝度を調整します。

《液晶明るさ自動調整》画面輝度自動調整を設定します。

《スクリーンセーバー》スクリーンセーバー（操作しない場合に画面表示OFFになるまでの時間）を設定します。

《ACC電源オフ設定》スリープ状態（駐車監視モード）/電源OFFを設定します。

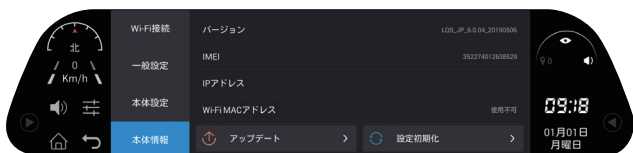


■本体設定

《GPS情報》GPSのON/OFFを切り替えます。

《言語》表示言語を設定します。変更時に再起動します。

《日付/時間》日時のGPS自動設定/手動設定を切り替えます。



■本体情報

本体のバージョン情報などを表示します。

《アップデート》アップデート画面に移動します。

《設定初期化》各種設定を初期化し再起動します。

※「SDカードフォーマット」にチェックを入れてOKをタッチすると、本体のシステムも同時に初期化(インストールしたアプリなどは削除)します。

画面輝度自動調整

画面輝度自動調整を設定すると、夜間は自動で画面の輝度を抑え、昼間は自動で輝度を上げることができるようになります。



《オート》ON/OFFで自動調整する/しないを切り替えます。

ONにすると時間や輝度の設定ができます。

《時間設定》夜間の設定輝度を実行する時間を設定します。

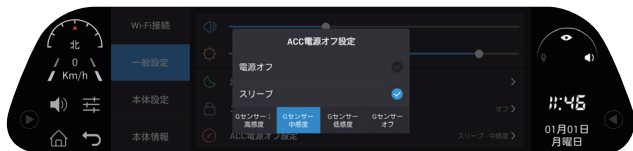
[18:00~7:00]の場合、夕方18:00から翌朝7:00まで夜間の設定輝度になります。

《夜間》夜間の画面輝度を設定します。

《昼間》昼間の画面輝度を設定します。

駐車監視モード

駐車監視モードON/OFFは「ACC電源オフ設定」で設定します。



《電源オフ》車両のエンジンをOFFにすると本体の電源もOFFになります。

この時、駐車監視モードは機能しません。

《スリープ》タッチすると《Gセンサー感度》を選択でき、車両エンジンOFF時にスリープ状態になり駐車監視を開始します。

※GセンサーをOFFにすると駐車監視録画は行いません。

■駐車監視録画

Gセンサー感度が低/中/高いいずれかの場合に機能します。

車両のエンジンをOFFにすると駐車監視モード(Gセンサー検知スタンバイ状態)になり、衝撃を検知すると自動的に4カメラで約10秒間録画し、録画終了後再び駐車監視モードに移行します。

衝撃検知



駐車監視モード

10秒間の駐車監視録画

駐車監視モード

記録開始

スリープ状態

※駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。

※ドアを閉めた時の振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。

※撮影された映像ファイルはmicroSDカードの容量上限に達すると古いファイルから上書きされます。重要なデータの消失を防ぐために定期的なバックアップをおすすめします。

※リア/サイドカメラによる駐車監視の機能は働きません。

※車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

再生画面

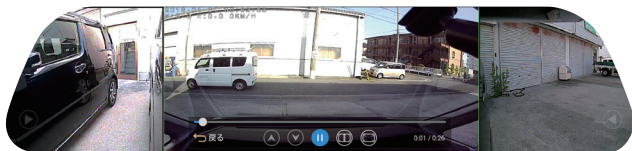


④をタッチして、フロントカメラ/リアカメラ/サイドカメラのいずれかを選択します。

①通常録画ファイル、②緊急録画ファイル、③静止画から再生したいファイルを選択し、
⑤サムネイルをタッチして再生を開始します。

※フロント/リアカメラ選択時はサイドカメラ映像も同時に再生できます。

■再生画面(フロント/リアカメラ選択時)



⑥再生バー…タッチ・ドラッグで任意の場所から再生します。

⑦戻るボタン…前の画面に戻ります。

⑧⑨アングル調整ボタン…表示アングルを上下に調整します。

(フロント/リアカメラの全画面表示時のみ操作可能)

⑩再生/一時停止ボタン…動画を再生/一時停止します。

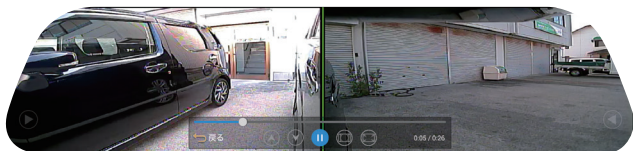
⑪表示切替ボタン…サイドカメラ映像のみ表示します。

⑫全画面表示ボタン…フロント/リアカメラ映像を全画面表示します。

⑬再生時間表示

再生画面

■再生画面(サイドカメラ選択時)



- ⑭再生バー…タッチ・ドラッグで任意の場所から再生します。
- ⑮戻るボタン…前の画面に戻ります。
- ⑯⑰…使用しません。
- ⑱再生/一時停止ボタン…動画を再生/一時停止します。
- ⑲⑳…使用しません。
- ㉑再生時間表示

アンドロイド内部ストレージについて

ホーム画面で「ファイル」をタッチすると、アンドロイド内部ストレージに移動します。
本体内存メモリやSDカードの各種データの状況など確認できます。



※アンドロイド動作及びアンドロイド内部ストレージ操作による不具合については保証致しかねます。

アプリケーションについて

ホーム画面で「アプリケーション」をタッチすると、GooglePlayストアでインストールしたアプリ一覧を表示します。

最初はGoogle Playストアのみが表示されています。

Playストアをタッチしてお好みのアプリを検索し、インストールします。



インストールしたアプリのアイコンを長押しするとアンインストールできます。

※Google Playストアを使用するにはGoogleアカウント登録が必要です。

既存のアカウントを追加、もしくは新規アカウントを作成してください。

※ミラー本体だけではインターネット接続はできません。Wi-Fiルーター等をご使用ください。

※ミラー本体とアプリとの相性・アプリの動作、アプリインストールによる不具合については保証致しかねます。アプリのインストールはご自身の責任において行ってください。

※アンドロイドのメモリ容量により、複数のアプリを同時に起動するとドライブレコーダーが正常に機能しない場合があります。

アップデートについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
更新するには本体情報から「アップデート」に移動します。



更新は「SDカードによるアップデート」で行います。
「オンラインによるアップデート」は対応していません。

アップデートがある場合は以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、
随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



https://www.maxwin.jp/content/support_file/smdr-b001_update.html

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない	<p>電源の接続をご確認ください。</p> <p>本機に電源が供給されていない可能性があります。</p> <p>お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
GPSが受信できない	<p>GPSコードの接続確認してください。</p> <p>ガラスが反射コーティングされているとGPS電波を受信しにくくなります。</p> <p>受信しやすい視界の良い場所で確認してください。</p> <p>初めて使用するときはGPSを受信するまで時間がかかる場合があります。</p>
記録したはずの映像がない	<p>microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。</p>
LED信号機のライトが確認できない	<p>映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。</p> <p>信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。</p>
microSDカードに記録できない	<p>microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。</p> <p>microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。</p>
頻繁に衝撃録画を行う	<p>Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知してしまっています。</p> <p>感度を低く設定してください。(高→低)</p>
時計がずれている	<p>GPSの時刻に同期します。GPSを受信しているかを確認してください。</p> <p>必ずGPSを「オン」に設定してください。また、タイムゾーンを+9に設定してください。</p>

製品仕様

モニター	9.76インチIPS液晶(解像度:1920×480)
CPU	Quad-Core ARM Corte-A7 Processor
GPU	Mali 400 MP2 GPU
RAM	1GB
ROM	8GB
動作電圧	DC11～16V
電流	800～1500ma
スリープ状態電流	約5ma
作動温度	-10～70℃
保存温度	-20～80℃
録画解像度	《フロント/リア》1920×1080 《サイド》720×480
イメージセンサー	《リア》SONY IMX307センサーStarvis採用
録画モード	ループ録画
動画ファイル形式	TS
メモリーカード	microSDカード(class10以上) ※2つのカード容量の合計が128GB以上になると システムエラーが起きる場合がありますのでご注意ください。

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

MAXWIN